

# 議案書を読む

## —正会員の議案書分析—

編集部

### はじめに

今回分析する議案書は2021年秋～冬に収集したものであり、コロナ禍2年目の運動方針となる。2019年以降、新型コロナウイルス感染症の流行により、社会はその様相を変え、産業構造、事業運営、働き方などに多大な影響を及ぼしている。労働運動も変化を迫られ、特にこれまで重視されてきたface to faceの活動が制限されたことによる影響は大きい。今回収集した議案書に記載された方針は、今後のウィズコロナを前提とした運動のベースになると考えられる。このような背景を踏まえ、今年は、直近

の年度(単年度、または複数年の運動サイクルで設定されている場合はそのサイクル)の運動方針について、コロナ禍における運動について考察を試みる。また、全体像を把握するため、1. でスローガンやビジョン等の内容についても確認している。

なお、研究所の正会員には、連合や産別組織、地方連合会、単組など様々であり、また、加盟する上部団体も多様である。組織により運動の範囲や方向性は当然異なるが、それについては区別せず扱っている。

### 1. スローガン等

議案書の提供があった49組織のうち、スローガン等を設定している組織は41組織であった。組織により、メインスローガン、シンボルフレーズ、運動(活動)の基調など表現は様々であるが、本稿では「スローガン等」と表す。

スローガン等に込められたメッセージや趣旨に沿って分類すると、大きく6つのテーマに分けられた。1. は挑戦や次のステージに向けて歩みを進めるといった内容のものであり、今回の議案書では最も多くみられた(12組織)。もちろんコロナ以外の背景もあるものの、ウィズコロナを踏まえ、次のステージを見据えたスローガン等を掲げたところが多かったのではない


かと考えられる。

このほか、2. では働きがい掲げるところが複数みられた。また、すべて“自分たちの手で”よりよい職場や組織をつくっていこうという趣旨のものとなっていた。さらに、3. のように、エンゲージメントそのものをスローガン等に掲げる組合もあった。4. は、未来を切り拓く、創造するといった内容のものである。5. は仲間との絆やつながりに重点を置いた内容であり、1. に次いで多くの組織が掲げていた(9組織)。具体的な内容は以下のとおりである(順不同。編集の都合上、割愛した内容や若干表現を変更したものがある)。

### < 1. 挑戦、一歩踏み出す・深める >

- ・深化と創意 ・挑戦する組織
- ・バージョンアップ ・IPPO(一歩)前へ!
- ・『継承』『深化』『イノベーション』
- ・みんなで踏み出す 新たな一歩
- ・変革・実践 - 全員参加で、衆・参勝利-
- ・大切なモノを引継ぎ、新しいカタチに最適化する
- ・変化への挑戦! 心ひとつに新たな時代を切り拓こう!
- ・ハッピーライフの実現に向け、全員が TAKE ONE STEP!
- ・「考動」～ We Do It! ～一人ひとりの行動で、真の豊かさを実現～
- ・安心社会へ新たなチャレンジ～すべての働く仲間とともに「必ずそばにいる存在」へ～

### < 2. 組織のあり方、働きがい >

- ・ひとりひとりの『よりよい組織』と一緒に作る組合へ
- ・対話と参画で職場力を高め、働きがいのある職場環境をつくろう
- ・働きがいを向上させよう  いい会社を目指そう with Reforming
- ・活気溢れる組織に向けて新たなステージへ～変化に柔軟に対応する力と力強く前進する力を～
- ・確かな将来(あした)を自分たちの手で! ～絶対安全確保・強固な労働基盤・強靱な組織づくり～

### < 3. エンゲージメント、参加関与 >

- ・創造・参加・実践
- ・すべてのことはじぶんごと
- ・Engage! 一人ひとりが労働組合の一員として関与する意識(こころ)と行動を!!

### < 4. 未来を切り拓く >

- ・認め合い、輝く未来(あした)へ
- ・CHANGE YOUR FUTURE
- ・時代(いま)を見据え、未来(あした)を創造
- ・みんなで創ろう、輝く未来! ～あなたが主

役、私が主役～

- ・明るい未来を切り拓くため、安全を基礎に総団結でこの難局を乗り越えよう!
- ・D<sup>3</sup> 仲間の英知を結集し、新たな価値の創造による生き生きと暮らし働くことのできる“明るい時代”を切り拓こう!  
※D<sup>3</sup> = Dream、Discover、Do の追求による相乗効果

### < 5. 仲間との絆やつながり >

- ・共創 ・ひとり一人と共に
- ・明るい未来に向けて 今こそ築こう新たな絆!
- ・繋がろう 心をひとつに ともに創ろう豊かな未来
- ・すべての組合と部門が 組合員とともに活動を前進
- ・本質の追求～つながりを強め、そして未来へつなぐ～
- ・つながる心 乗り越える強さ 仲間と共に明日を築こう!
- ・つながり 広げよう “仲間の輪” “学びの輪” “対話の輪” 共に成長しよう 組合の仲間・社会の仲間と
- ・わくわくすることをしよう いろんな価値を認めよう つながりを大切にしよう
- ・「組織の強化」「組織の拡大」「めりはりのある働き方」を活動の柱とし、仲間のために全力になれる組織を目指す

### < 6. その他 >

- ・友愛・創造・貢献
- ・安心で豊かな暮らしを目指す 社会の安定と産業の発展に尽くす 頼りがいのある産別活動を推進する
- ・働くことを軸とする安心社会をめざそう! 地方自治・地方財政確立、労働基本権を回復させよう! 戦争のない平和な世界、民主主義を闘い取ろう!
- ・生命とくらしのインフラ=地域公共サービスの前進と政治の改革 多様性と力の結集で明日につなぐ組合活動 仲間の声を積み上げ、要求・交渉でつくる働きやすい職場

## 2.コロナ禍における運動

全体観としては、ウィズコロナを前提に、社会が大きく変わるこのタイミングを、「新たな可能性を見出す機会」「行動変容のチャンス」などと前向きにとらえ、新たな活動スタイルを確立しようという方向性のところが多くみられた。以下では、議案書に掲載された内容から、活動報告と、運動方針について確認する。

### (1)前年の活動報告

議案書に記載されている、前年度の活動報告では、コロナ禍で様々な制限を受けながらも、組合員に寄り添い、労働運動の原点である「face to faceによるコミュニケーション」を大切にしつつ、リアル／オンラインの各特性を活かし、状況に応じて創意工夫をしながら活動が展開された様子がうかがえる。Webを活用した取り組みを進めることにより、コロナ禍1年目と比べると新しい活動方法を実践できたという記載が多くみられた。

たとえばある組織では、機関会議・各種研修会のWeb会議化、Webを活用した職場訪問や職場集会・レクリエーション、各種支部活動情報の伝達・交換に際してのさらなる電子化の推進などが報告されており、同様の試みを行っているところも多かった。

さらにWebの活用を進めた組織では、「オンラインコミュニケーションを前提」とし、「情報展開・意見集約はインターネットHPを再構築し、動画やWebアンケートにより正確性とタイムリーさを向上させた。」「スマートフォンアプリに対応したプラットフォームとすることで、アプリの通知機能により新しく記事が投稿されたことにすぐに気付くことができ、タイムリーに情報展開できるようになった。」といった事例もみられた。

### (2)運動方針

今後の運動方針として、リアル／オンライ

ンのそれぞれの特性が把握でき、Zoom等のICTツールにも慣れてきたこと等を踏まえ、程度の差はあるものの、ICTツールを有効に活用することを前提とした活動を進めていくという方向性は全体で一致している。また、コロナ禍だからこそ、労働組合の役割や重要性を再確認し、組合員の不安に寄り添い、よりきめ細やかなサポートや、丁寧に合意形成を行っていくことを改めて確認している事例もみられた。以下では、4つの観点から、方針の内容を確認したい。

#### ① コミュニケーション

コミュニケーションのあり方については、オンラインの利点を踏まえ、組合員との双方向性とスピード感を大切にされた内容となっていた。また、労働組合ならではの活動といえる、部署や会社などの垣根を超えた交流・つながりの輪の拡大という観点からの取り組みもみられた。たとえば、「業務目的外の社外とのつながり強化」「部門を超えたコミュニケーション」「会社・上司とのコミュニケーション」「現場を超えた連携」「他部門／他職場との交流活動の推進(協働に繋がる人脈形成の取り組み)」「社内のキャリア形成を主旨とした交流機会の提供」などが挙げられている。

#### ② 広 報

Web会議システム等を活用した情報共有、SNSを活用した組合員とのつながり強化など、新しい生活様式を意識した広報活動の推進を掲げるところが多くみられた。また、オンラインをうまく組み合わせ、組合活動への関心や参画意識を高めるため、労働組合の様々な取り組みの目的やねらい、進捗状況や結果などを分かりやすく伝える工夫を行っている組織もみられた。

たとえば、「広報ツール(ユニオンニュース・ホームページ・LINE・支部ニュースなど)を活用し、組合活動の定期的かつタイムリーな情報発信し、広報ツールをより多くの組合員とその家族が活用できる機会の提供」「広報ツールを通じて組合活動に関心を持ち参画につながる工夫」「上部・関連団体の取り組みを積極的に発信」などの内容がみられた。

### ③ 働く環境や柔軟な働き方

ウィズ／アフターコロナにおける暮らしや働く環境変化を見据え、組合員・従業員が安全かつ効率的に業務を継続していくための働く環境のあり方や、より柔軟な働き方などについても方針に掲げる組織が多かった。

具体的には、「働きやすさ・生活のリズムを考慮したカレンダーの設定」「労働時間の適切な把握」「総労働時間短縮」「休み方」(編注:年休の消化が進まないことへの対策等)、「生産性向上」「メリハリのある働き方」等が挙げられている。

### ④ 労働組合の存在感の発揮、組合員との信頼関係の構築

ナショナルセンターである連合や地方連合会では、「安心社会へ新たなチャレンジ～すべての働く仲間とともに『必ずそばにいる存在』へ～」を運動方針に掲げ、今後に向けた新しいチャレンジを謳っている。議案書によれば、「すべての働く仲間」は、これまで労働組合と距離のあった働く仲間や連合の存在を知り得なかった働く仲間を含めた表現となっている。

単組においても、たとえば、「社内外から信頼される組織を構築する」「組合員の期待に応える労働組合を目指して」「頼りになる組織・役員づくり」など労働組合の存在感の発揮や信頼関係の構築を趣旨とする内容を掲げているところが複数みられた。

コロナ禍で、雇用をはじめ様々な社会の歪みが浮き彫りになる中、労働運動に対する期待や社会的責任は高まっていると考えられ、労働組合が果たす役割はますます重要になってくるといえるだろう。

## 3. 新しい視点

世界の潮流等を踏まえ、労働組合の運動方針にも新しい視点が追加されていく。近年は、サステナビリティの視点が運動方針においても明確になってきている。以下、具体的に確認してみたい。

### (1) 多様性、包摂

連合、産別組織、単組の各レベルで、想定される運動の範囲や労働組合の役割は異なるものの、各組織において、「多様性」や「包摂」といったキーワードを含む活動を重点的な活動として掲げているところが多くみられた。

たとえば、「多様な従業員が誇りとやりがいをもって活躍できる企業の実現を目指した、ダイバーシティ&インクルージョンへの

対応など、心身ともに健康で生き活きと働くことのできる職場環境・風土の構築」などが代表的である。労働界から発信されている「付加価値の適正循環」などとも関連する考え方といえ、これまで以上に周囲を思いやり仲間や社会に思いをはせた運動を考える組織が多くなっていることが感じられた。

### (2) SDGs (持続可能な開発目標)

2015年に国連で採択され、世界共通の目標となっているSDGsにも、議案書の中で触れている組織が散見された(「SDGsとの関わりを意識して活動を進めていく」など)。また、(1)や後述の(3)とも関連するが、「社会の持続性の観点から、BCP対策やSDGs、ESG



経営への関わりも深めるよう努める」といった内容もみられた。

なお、産別組織の運動におけるSDGsに関する考え方については、本誌の前号(2022年4月号)の特集「産別トップに聞く」でテーマの一つとした(日教組は本誌に掲載)。組織によって位置づけは様々であるものの、労働組合が取り組んできた活動と非常に親和性が高いということが改めて確認できた。こちらもお読みいただければ幸いです。

### (3) 経営対策活動の強化

経営対策は、これまでも労働組合の活動の大きな柱であったが、重点的な活動項目に「事業の持続的発展に向けた経営対策活動の推進」を掲げるなど、これまで以上に力を入れるという方針の組織も複数みられた。昨今、DXやカーボンニュートラルなど、産業構造が大きく変化する中、労働組合として企業や産業に対して対策・提言していくことはますます重要になるだろう。

## 5. 最後に

本特集の扉ページでも触れたように、昨年「正会員の議案書分析」の特集(2021年5・6月号)において、篠田 徹氏は、ケイパビリティ・アプローチの立場に立てば、「最近の議案書に見られる特徴的な傾向は、個々の新たな活動や取り組みというよりも、これまでの組合活動に対する新たなアプローチにある」「たとえ労働条件向上や経営政策への提言活動、さらに教育やボランティア活動など、同じ活動や取り組みを場合によっては何十年繰り返していたとして

も、そこには新たな意義や視点からの見直しが行われていることになる」と指摘している。今年各組織の議案書でもその流れは継続されており、ウィズコロナ、持続性などの観点から運動のあり方が再検討されていた。本号では、特にコロナ禍における運動に焦点を当てたが、次年度以降の方針でも、様々な視点からのアプローチや見直しが積み重ねられていくと考えられる。引き続き今後の運動方針や議案書にも注目したい。

